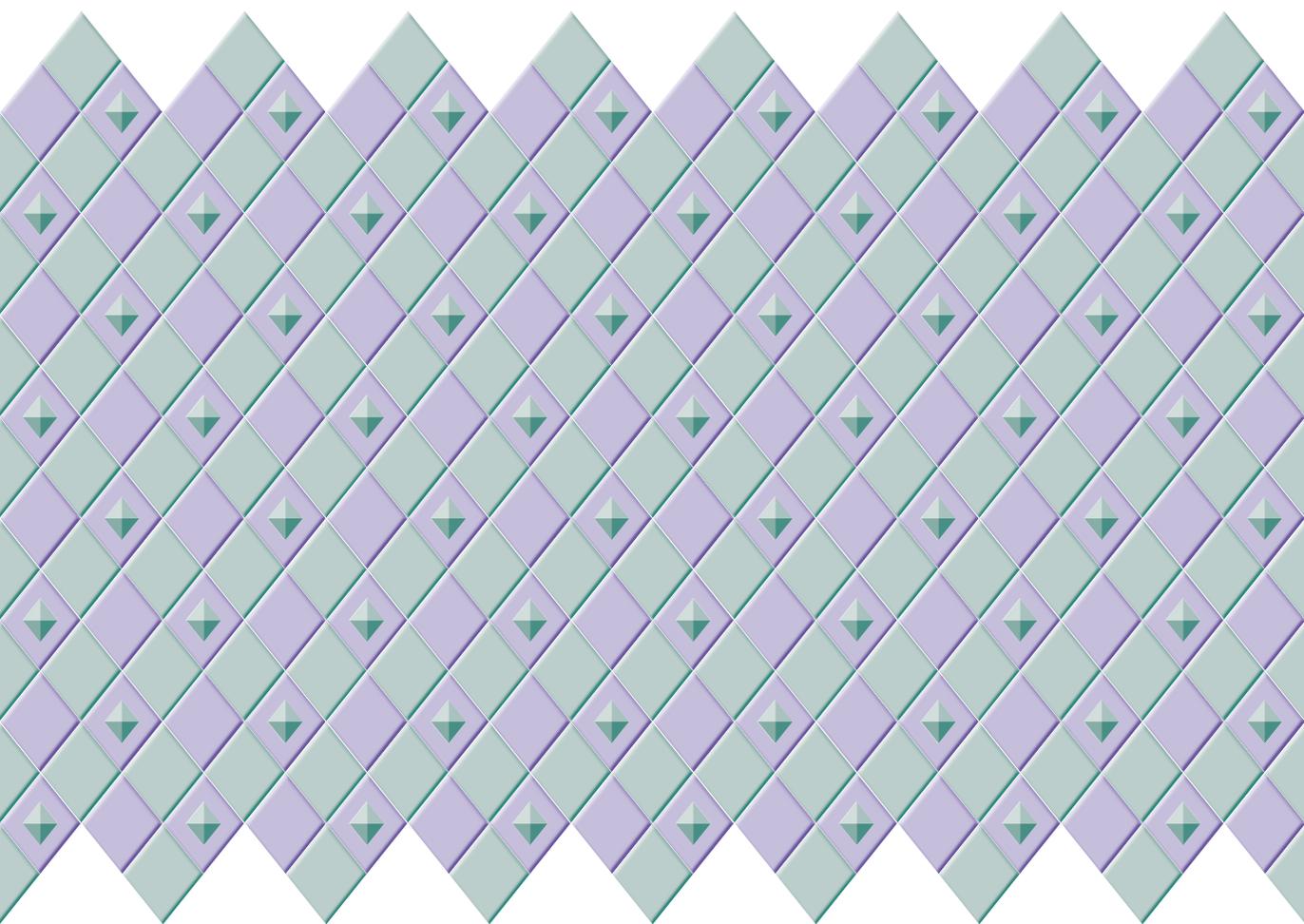
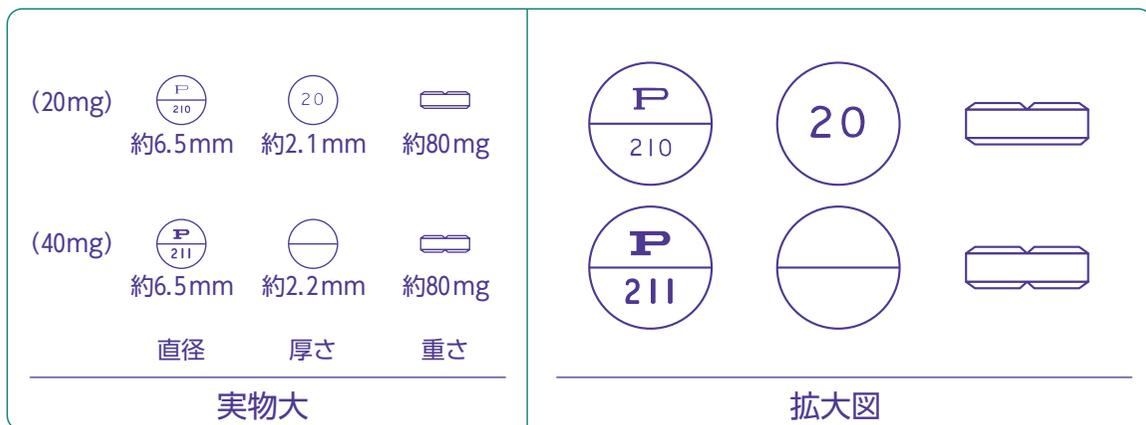


グリミクロン[®] HA錠20mg 錠40mg を 服用されている方へ



グリミクロン[®] HA錠20mg 錠40mg を服用されている方へ



1. 低血糖症の予防には

- (1) 薬の量やのみ方は、主治医の指導を正しく守って下さい。
勝手に量やのみ方をかえるような自己流のやり方は危険です。
- (2) 食事をみだりに減じたり、抜いたりしないよう食事療法はきちんと守ることが大切です。酒の飲みすぎ、激しい運動、下痢などは低血糖症を起こしやすいので注意して下さい。食事がとれない時は、主治医に連絡してその指示をうけて下さい。
- (3) 薬の中には、いっしょにのむと低血糖症を起こすものがあります。何か別の薬をのむ時には、主治医に相談して下さい。他の医師に何か薬を処方してもらう時には、すでに糖尿病の薬をのんでいることを申し出て下さい。

2. 低血糖症が起こったら

- (1) 低血糖症になっても軽いうちは糖質を含む食品を食べると治ります。平素から3～4個の袋入り砂糖を持ち歩き、すぐその場でとることが必要です。がまんしてはいけません。ただし、アカルボース、ボグリボース、ミグリトールを併用している場合には砂糖は不適切です。これらの薬剤は砂糖の消化や吸収を遅らせますので、必ずブドウ糖をとって下さい。
- (2) 十分注意していても、ときには意識を失うような強い低血糖症が起こらないとも限りませんから、自分は現在糖尿病で薬をのんでいることを書いたカードを身につけておき、すぐに治療してもらえようようにしておくことが安全です。
- (3) 低血糖症を起こした場合は、必ず早目に主治医に報告して下さい。

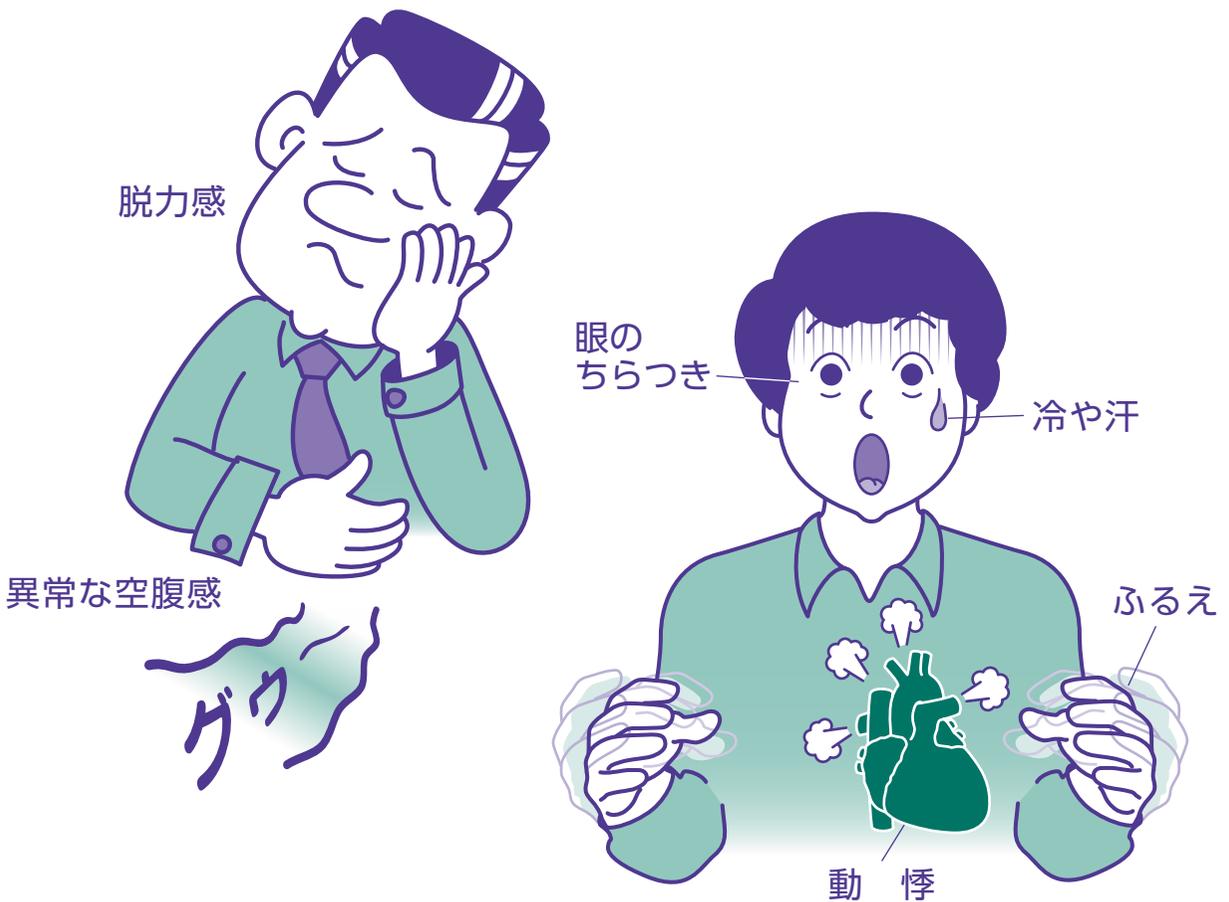
3. 高所作業や自動車の運転等危険を伴う作業に従事している時に 低血糖症を起こすと事故につながります。特に注意して下さい。

※裏面もご覧下さい。

低血糖症状って？

●低血糖症とは

血液中の糖分が少なくなりすぎた状態で、急に強い異常な空腹感、力のぬけた感じ、発汗、手足のふるえ、眼のちらつき等が起こったり、また頭が痛かったり、ぼんやりしたり、ふらついたり、いつもと人柄の違ったような異常な行動をとることもあります。はなはだしい場合には、けいれんを起こしたり意識を失うこともあります。



低血糖症は危険な状態ですから、このようなことが起こらないように注意し、もし起こったら、軽いうちに治してしまわなければなりません。

なお、低血糖症が起こっていることを本人が気づかなかったり、わからなかったりすることがありますので、家族やまわりの方もいっしょに注意して下さい。

